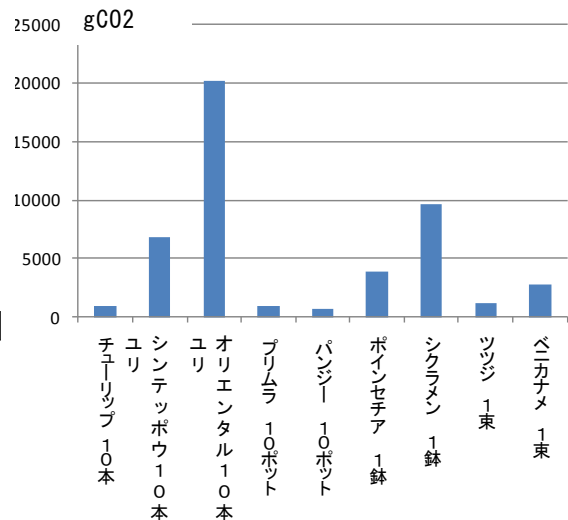
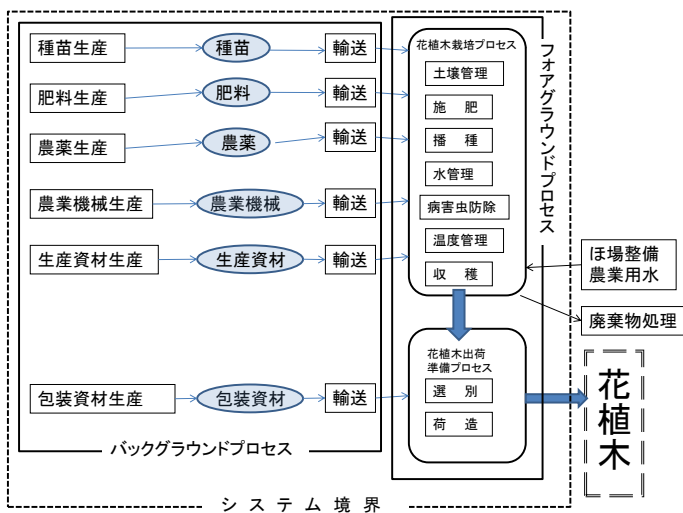


農産物の生産から発生する温室効果ガス

埼玉県では、地球温暖化の原因となる二酸化炭素などの温室効果ガスを、2020年までに2005年の排出量よりも25%減らそうとしています。

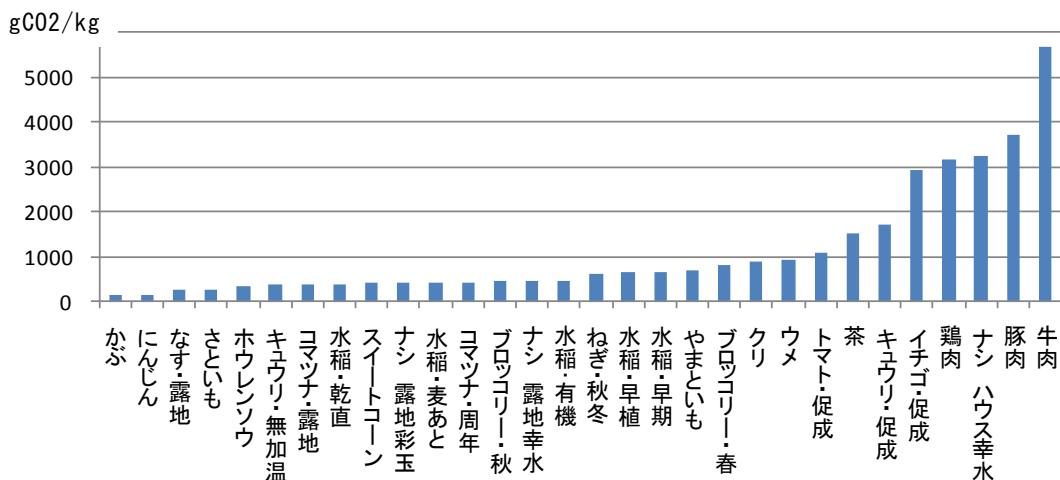
米や野菜などの農産物を生産する場合にも、田んぼを耕したり、温室を暖房したりするため、燃料や電気を消費しています。また、肥料や農薬などの資材を製造したり、トラクターなどの農業機械を製造するときにも温室効果ガスが発生しています。

そこで、埼玉県産農産物を生産する場合に、どれぐらいの温室効果ガスが発生しているのかを試算しました。その結果、露地栽培の野菜や米の生産からは温室効果ガスの排出量が少なく、野菜やナシの施設栽培や肉類を生産する場合は排出量が多いことがわかりました。



評価した農業生産の範囲 (花植木)

花植木生産から発生する温室効果ガス



農産物生産から発生する温室効果ガス